

参考：平成21年度 参加者の声
～ アンケートより一部抜粋 ～

- ◎ 各グループに分かれてディスカッションすることで、全員参加型の研修の効用を改めて実感しました。困っているときに答えではなく、ヒントを授けていただくのも効果的な運用だと実感しました。この気づきは、自大学に戻ってもすぐに実践できそうです。(30代・第2分科会参加)
- ◎ 全国の私立大学で沢山の職員が一生懸命頑張っていることを実感しました。このモチベーションを自大学に戻っても下げないように努力を続けたい。また、他大学の方とのご縁も大切にしたいと思う。(30代・第1分科会参加)
- ◎ 今回初めて研修に参加しましたが、とても充実した研修だと感じました。初日の講義・事例などはとても貴重な内容でした。ディスカッションで他大学の話を聞くことで、将来像を考えながら現実を見つめることができた。(30代・第5分科会参加)
- ◎ ポートフォリオに関してあまり理解できていなかったが今回の研修に参加してようやく理解できた。教職員に対して学生カルテ、ポートフォリオに関しての重要性を伝え、理解を得なければならぬと思いました。(30代・第1分科会参加)
- ◎ 活発な意見交換が出来て、有意義な研修を受けることができた。学生を思う気持ちや向上していきたい気持ちはたくさんの方がもっていると実感した。(30代・第6分科会参加)
- ◎ 大学職員として、という意識を改めて再確認した上で、自分の業務を振り返るきっかけになった。(30代・第4分科会参加)
- ◎ まず、今までの自分自身のシステム活用を振り返ってみたいと考えます。より効果的な学生支援のための活用を考えたい。またこの、研修で得たこと、アイデアとして思い浮かべたことを積極的に教職員へアピールしたいと考えています。(20代・第1分科会参加)
- ◎ 今までの仕事に対する意識も変わり、様々なことに目を向け、『気づく』力をつけて行きたいと思います。(20代・第3分科会参加)
- ◎ 業務では目の前のことを処理することしか考えられていないので、研修で包括的に考えるきっかけを得ることができたのは非常に貴重でした。(30代・第3分科会参加)
- ◎ 細部は異なるが、大きな部分の悩みは、各大学で共感できる部分が多いと感じた。やはり同じ業職の方々と知り合える機会として、研修会の必要性を感じる。(30代・第5分科会参加)
- ◎ 研修全体のスケジュールに討論時間が多かったので、”どうなるんだろう”と正直不安に思っていたのですが、講義+他大学のみなさんとの討論は自大学の改革への考え方、取り組み方、また問題を改めて考えるいい機会となりました。いろいろなアイデア、事例を出しながら、短い時間でここまでできると思っていなかったのが、大変有意義な研修となりました。(30代・第2分科会参加)
- ◎ 今まで参加した出張とは比べ物にならないほど、ハードかつ中身の濃い研修会でした。参加者が主体的に初対面どうしのグループでひとつの目的を成し遂げることは、想像したよりも楽しく有意義に進められた。(40代・第4分科会参加)
- ◎ 同じ悩みを持つ方々と話すことで、自学の状況が逆に明らかになりました。研修そのものも得るものが多かったが、それ以外の場での交流にも大きな役割があったと思います。ディスカッションだけではなかなか深い話にはなりにくいですが、事前のメーリングリストによりある程度カバーできたと思います。(30代・第5分科会参加)
- ◎ 密度の濃い3日間でした。日頃ゆっくり考えをまとめる機会がないため、今回の研修は情報収集以外にも自学の問題点の洗い出し、振り返りもでき、大変有意義でした。(40代・第1分科会参加)
- ◎ 建学の精神と教育目標を常に念頭において業務を検証していくことの大切さと、目的を明確にしつつも、その遂行の途中で見直し(振り返り)をすることの効果について学びました。(40代・第1分科会参加)